

第9号は、土曜学習「元素の話」の様子と、土曜学習の内容に合わせて「読み聞かせ」をしていただいた学校運営協議会読書企画推進委員会の活動の様子、全市教務主任会での発表について、高崎経済大学からの学校訪問の様子をお知らせします。

平成24年11月9日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

9月8日(土)本校「ふれあいサロン」で「土曜学習 <元素の話>」が開講されました。本校学校運営協議会理事の北野正彦さんのご紹介で、京都薬科大学名誉教授の桜井弘先生を講師にお迎えして、元素についてわかりやすく教えていただきました。

News 「土曜学習 <元素の話>」



↑ 身の回りに「元素」ってあるのかなあ。目に見えないから分からないなあ。と子どもたちがつぶやいていました。



↑ サプライズで通電しているかどうか分かるテスターをもっていただきました。子どもたちはとても興味深くテスターを使っていました。



↑ 元素のことを子どもたちにも分かるように説明していただきました。



↓ 最後はグループに分かれて、「えれめんトランプ」で楽しく盛り上がりました。

News 「<元素の話>に合わせた読み聞かせ」



↑ 今回は、学校運営協議会読書企画推進委員の山田さんが読み聞かせを担当していただきました。



↑ もの、は、元素でできているという内容の本でした。元素のことが分かりやすく解説されていました。



↑ 読んでいただいた本の他にも元素に関心したたくさん本を紹介していただきました。図書室にいろいろな分野の本がたくさんあることもわかりました。



「全市教務主任会 学校運営協議会〈本校における成果と課題〉」

9月12日(水)に、京都市総合センターにおいて、本校教務主任久保賢洋教諭が、「学校運営協議会〈本校における成果と課題〉」というテーマで発表しました。

発表後、各校の教務主任からその学校の成果と課題が出されたので紹介します。

成果としては、次のような報告がなされました。

- 学校運営協議会が設置されたことで、学校と地域との繋がりが深くなりました。
- 地域の方々から、学校にいつもの親近感をもつようになったという声がありました。
- 学校の行事や学習活動などにも積極的に関わってくださるようになりました。

課題としては、

- 管理職・教務主任だけでなく、他の教職員の積極的な関わりが必要であることや、地域の方々の力を発揮していただく場を十分設定仕切れていないところがあるので、地域の方々に活躍していただく場面をさらに増やす工夫が必要である。

などが報告されました。

最後に、本校の積極的な取組に対して、他校より「松ヶ崎小学校を参考にして、取組を充実させたい」という感想をたくさんいただいたようです。



「学校訪問(高崎経済大学)〈学校運営協議会制度視察〉」

9月14日(金)に、群馬県にある高崎経済大学から学校訪問がありました。地域政策学を専攻しているゼミの学生さん11名が、指導教官の先生の引率で「学校運営協議会制度」の視察に来られました。教務主任が本校の取組についてパワーポイントを使って分かりやすく説明しました。その後、活発な質疑応答がありました。それを終えて、学校内の見学・授業参観をしていただきました。



学生さんたちは、とても熱心に学校運営協議会の説明を聞いておられました。



高崎経済大学地域政策学部吉原ゼミの皆さんからお礼状が届きました。抜粋して紹介させていただきます。

～高崎経済大学からのお礼状より～

私たちが居住する群馬県では、コミュニティ・スクールに指定されている学校は2校しか存在せず、学校と地域の組織だった深い連携というものなかなか見られませんでした。それ故に、先生方のご経験を交えた貴重なお話は大変勉強になり、コミュニティ・スクールの実際の姿、とりわけ地域住民が参画する学校運営の在り方に関して様々な点から考えを深めることができました。



説明の後、質疑応答で「ゲストティーチャーは、どのような方をお願いされていますか」「学校運営協議会が設置されて、学校と地域の間にはどうなりましたか」「理事会の役割はどんなものですか」「理事さんの立場は、どのような位置づけですか」等、質問がたくさん出されました。